

学校運営協議会活動について（令和7年度報告）

1 学校運営協議会

(1) 開催状況

回	日 時	人数	主な議事、活動
1	令和7年 6月 3日 10:00~11:30	19	・学校経営方針について ・年間計画・取組内容について
2	令和7年11月11日 10:00~11:30	19	・取組の進捗状況について
3	令和8年 2月 9日 10:00~11:30	16	・令和7年度取組のまとめ ・学校関係者評価の年度末評価 ・令和8年度学校経営計画（案）について

(2) 主な意見、提案等

- 第1回 ・弓削校地での開催。学校運営方針、年間計画・取組内容について提案。
- ・職業コースの人数が減っていることと寄宿舎への入舎状況から、就労に向けて、本校は寄宿舎のある職業コースが売りである。職業コースに特化した体制を県にも働き掛けて作っていくとよい。
 - ・弓削校地の校内実習を参観して、生徒のあいさつや返事が良かった、黙々と作業する姿や実習を通して伸びていることが見て取れたという感想をいただいた。
 - ・地域にある学校として、地域の人声、ボランティアの方々の声を聞いて、きちんと返すことができているだろうか。つながっていかないといけない。
 - ・いろいろな地域で移動アンテナショップをしていて、美作大学に来てくれてよかった。体験の場としてとてもよかった。
 - ・留守番電話の時間が長くなり、連絡できる時間が短くなったが、特に不便さを訴える声は聞いていない。連絡アプリの導入で、いつでも欠席などの連絡ができて便利になった。
 - ・働き方改革について、企業の取り組みを教えていただいた。週1回定時で帰る、必要な仕事かどうかの検討と削減。
- 第2回 ・誕生寺校地での開催。学校経営計画中間評価、寄宿舎の取り組みの説明と地域学校公開の報告。
- ・学校を見学されて、普段の授業からタブレットを活用していてよいとの感想や、校地が離れているので、土曜日の行事を校地別にしてお互い見学に行くことはできないか等の意見をいただいた。
 - ・エキスパート派遣で、学校や園の割合について質問があり、偏りはなく多方面から要請が来ていることを話した。
 - ・職業コース寄宿舎生について、職業コースの紹介パンフレットに寄宿舎の紹介を入れたこともあってか、今年度は希望者が増えた。ダブルスクールについては、県教委とも確認したが、単位の関係で難しい。
 - ・地域との交流会がなくなったのは寂しいが、地域参観日として、たくさんの方が参加したのはよかった。A高の生徒がカフェをしており、地域の方がと

でも喜んでいた。

- ・企業参観日があるのはよい。まず見学に行ってもらおうよう企業に紹介している。

- 第3回
- ・誕生寺校地での開催。学校経営計画最終評価、学校関係者評価等について提案。
 - ・ぜひ誕生寺小学校との交流は続けてほしい。久米南町3小学校が統合するので、持ち方を考えていく必要がある。
 - ・ICTによく取り組んでいる。フェイスブックなどでアンテナショップの情報が発信できるとなるとよい。
 - ・学校からボランティアには何があるかなど発信して久米南町全体に広まってほしい。
 - ・敷地内の山林を、以前はよく授業で使っていた。畑や遊具を置くなどして活用するのはどうか。運動場の駐車スペース確保のためにも。
 - ・企業に現場実習に来てくれていて、感謝状もいただいた。実習生と接点のある職員は限られるので、会社の方でも接し方を考えていく。
 - ・美作大学での移動アンテナショップを開くことはとても意味がある。その前後にパネル展示などできるとよい。
 - ・PTA 施設見学が復活したのはよかった。小学部のときから知っておくとよいと思う。

2 学校の取組状況

学校運営協議会の始めに、授業参観や校内見学を設定し、児童生徒の様子や教職員の働きぶり、学校の施設等を見ていただくことができた。令和5年度から、3回のうち1回は弓削校地での開催としており、今年度は、知的障害部門高等部の校内実習の様子を参観していただいた。校内実習の様子は初めて見る方が多く、貴重な意見を伺うことができた。

運営協議会の持ち方について、令和5年度から、3グループに分かれて意見交換をするようにしており、それぞれのテーマやその他のことについても、多くのご示唆をいただくことができた。ただ、第2回目は、進行の関係でグループディスカッションの時間が取れず、第3回目は、前回の反省から見学はなしで、意見交換の時間を多く取るようにした。。大雪の対応で参加者が減り、全体での話になった。その良さはあったが、今後も工夫しながら様々な意見を出していただけるようにしたい。

3 取組の成果

学校運営協議会には、様々な立場の委員の方がおられ、いろいろな視点から意見をいただくことができた。

- ①アンテナショップを他の地域でもとの要望を受けて、「移動アンテナショップ」を生徒の主要な居住地でも行うようになり、理解が広がり、大変好評を得ている。委員の方の大学が場所を提供してくださることもあり、双方の理解につながっている。
- ②野の花ショップ「夢元」の商品について、意見をいただいて改善した。
- ③卒業後の進路先について、企業参観日について改善点を挙げていただき、毎年実施方法

や対象を、よりニーズに合ったものになっている。地元企業に生徒のことを知ってもらえる良い機会となっている。

- ④職業コースがあり、寄宿舎もある支援学校は、県内で唯一であることから、広くアピールをしていけばよいとの意見を受けて、中学校を中心にパンフレットを配布し、積極的に説明をすることを続けていくことで、今年度は定員を上回る希望があった。
- ⑤改善点に加えて、実施している取組への称賛やご協力は、児童生徒や教職員にとって大変励みになっている。
- ⑥地域とのつながりが深い本校の良さを今後も生かしていくために、委員の方々をはじめとして、いろいろな方の意見をいただきながら、本校の実践を進めていかなくてはならない。